



事業シート（概要説明書）

① 事業名	文化振興事業
② 細事業名	文化会館管理運営事業

担当部・課	生涯学習部ふるさと文化課	事業開始年度	平成4年度
根拠法令など	市立文化会館条例		

基本情報

③ 事業概要 (手段・手法など)	文化会館管理運営業務の委託（施設の利用の許可に関する業務、施設等の維持管理に関する業務、市民文化の創造及び振興を図るため実施する事業に関する業務）		
④ 事業目的 (何のために)	本市文化活動の拠点である文化会館をその目的に合った効率的・効果的な維持管理・運営を行うことにより、市民の芸術文化活動を推進する。また、文化施設の設備を良好な状態に保ち、施設利用者の快適な環境を維持する。		
⑤ 対象及び人数 (誰・何を対象に)	市民全般及び周辺住民		
⑥ 事業実施方法	指定管理	公益財団法人 河内長野市文化振興財団	
⑦ アウトソーシング等の検討余地			

⑧ コスト	平成24年度予算		直接経費 (A) の内訳						
	直接経費 (A)	224,185 千円	委託料：207,761千円、使用料及び賃借料：9,668千円、需用費：1,756千円、負担金、補助及び交付金：5,000千円						
	人件費 (B)	1,652 千円	※A内訳の内、臨時職員他(嘱託・アルバイト)人件費を再掲		0 千円	左の従事職員数	0 人		
			内訳	担当正職員：概算人件費(B) (H22決算平均人件費8,260千円×従事職員数)		1,652 千円	左の従事職員数	0.2 人	
	総コスト (A) + (B)	225,837 千円	財源内訳 (収入)						
		国・府からの補助金等	0千円	使用料・手数料	0千円	一般財源(市債含む)	219,620千円	その他	6,217千円
		補助金の割合 (率)							

現状・目標・課題

<p>⑨ 事業の現状</p>	<p>市の文化施策は、市民、団体との協働により市民文化を育み、発展させるものであり、そのためには市民、団体との信頼関係が不可欠であります。本施設の指定管理者である公益財団法人河内長野市文化振興財団は、市文化連盟やボランティア団体等との文化事業の協働、地元若手アーティストの育成、長期育成型事業を行うなど、地域に根ざした、市民と密着した地域文化の創造を図りながら、会館の効率的・効果的な管理運営を行っています。</p>				
<p>⑩ 目標 (目指すところ) ※より具体的に記入</p>	<p>指定管理者制度の導入により事業目的を果たすとともに、効率的・効果的な維持管理、運営に努めます。</p>				
<p>・事業の課題 ・事業の方向性 (改善に向けて) ⑪ 公開事業評価 において、市民 の方にお聞きし たい内容</p>	<p>■事業の課題 社会環境の変化により生涯学習の必要性が高まっており、その中核をなす文化芸術の振興においては、さらに広く市民に受け入れられるようにその裾野を広げていくことと同時に、鑑賞・発表の場の確保することが今後の課題と考えています。</p> <p>■事業の方向性（改善に向けて） ホールでの芸術文化に係る鑑賞事業などで、実際には年間20万人以上の利用者がいるにも関わらず、芸術文化に限られた一部の市民の受益しかないと捉えられていることから、今後、これまでも増して広く地域住民に広めるための芸術普及活動(アウトリーチ活動)を積極的に展開し、教育、医療、福祉等他分野との連携を図ることで、会館の芸術文化活動が周知され、市民により身近な存在となるよう努めます。</p> <p>■公開事業評価において、市民の方にお聞きしたい内容 アーティストや地元文化団体等との関わり方や文化振興における裾野を広げていくことの方策について。また、広く地域住民に広めるための芸術普及活動(アウトリーチ活動)の展開に加え、今後の芸術文化活動の鑑賞・発表の場のあり方について。</p>				
<p>事業シート作成責任者</p>	<p>部長名</p>	<p>大江 正幸</p>	<p>課長名</p>	<p>井上 剛一</p>	